

■ 改良すべき踏切道 一覧

広島県（政令市除く）

No	踏切道		鉄道		道路			該当する指定基準 (踏切道改良促進法施行規則)		法指定 時期	完了 年度
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者				
1	広島県安芸郡海田町	大正通第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	地域課題	—	R1.12.25	
2	広島県安芸郡海田町	大正通第2	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	地域課題	—	R1.12.25	
3	広島県安芸郡府中町	鹿籠	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	茂陰鹿籠線	府中町	地域課題	—	R1.12.25	
4	広島県安芸郡海田町	瀬川西	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	2号線	海田町	地域課題	—	R1.12.25	
5	広島県安芸郡海田町	瀬川東	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	3号線	海田町	地域課題	—	R1.12.25	
6	広島県安芸郡海田町	中店第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	1号線	海田町	地域課題	—	R1.12.25	
7	広島県安芸郡海田町	海田市第1	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	4号線	海田町	地域課題	—	R1.12.25	
8	広島県安芸郡府中町	青崎第10	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	青崎桃山線	府中町	歩行者ボトルネック	—	R1.12.25	
9	広島県安芸郡海田町	新町	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	1号線	海田町	開かず	—	R1.12.25	
10	広島県福山市	鶴ヶ橋	福塩線	西日本旅客鉄道(株)	県道	加茂福山線	広島県	地域課題	—	R3.4.13	
11	広島県安芸郡坂町	総頭川西	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	総頭川1号線	坂町	地域課題	—	R3.4.13	
12	広島県呉市	海岸通	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	呉環状線	広島県	歩道狭隘	—	—	
13	広島県呉市	両城第1	呉線	西日本旅客鉄道(株)	市道	三条3丁目1号線	呉市	移動等円滑化	—	—	
14	広島県呉市	両城第5	呉線	西日本旅客鉄道(株)	市道	三条4丁目1号線	呉市	移動等円滑化	—	—	
15	広島県廿日市市	可愛川	宮島線	広島電鉄(株)	県道	虫道廿日市線	広島県	歩道狭隘	—	—	
16	広島県廿日市市	平良	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	虫道廿日市線	広島県	歩道狭隘	—	—	
17	広島県大竹市	古新開第一	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	大竹湯来線	広島県	地域課題	—	—	

■ 災害時の管理の方法を定めるべき踏切道 一覧

広島県（政令市除く）

No	踏切道		鉄道		道路			法指定 時期
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者	
1	広島県安芸郡海田町	大正通第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	R3.6.30
2	広島県安芸郡海田町	大正通第2	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	R3.6.30

■ 改良すべき踏切道 一覧

広島市

No	踏切道		鉄道		道路			該当する指定基準 (踏切道改良促進法施行規則)		法指定 時期	完了 年度
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者				
1	広島県広島市東区	中山	芸備線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中祇園線	広島市	地域課題	—	H31.2.8	
2	広島県広島市安芸区	的場川西	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	瀬野船越線	広島市	地域課題	—	R1.12.25	
3	広島県広島市安芸区	引地	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安芸3区72号線	広島市	地域課題	—	R1.12.25	
4	広島県広島市安芸区	船越	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安芸3区59号線	広島市	歩道狭隘	—	R1.12.25	
5	広島県広島市南区	青崎第6	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	南2区8号線	広島市	地域課題	—	R1.12.25	
6	広島県広島市南区	青崎第3	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	南2区11号線	広島市	地域課題	—	R1.12.25	
7	広島県広島市南区	堀越第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	南2区9号線	広島市	地域課題	—	R1.12.25	
8	広島県広島市西区	草津	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	西4区47号線	広島市	地域課題	—	R3.4.13	
9	広島県広島市安佐南区	毘沙門	可部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安佐南1区194号線	広島市	地域課題	—	R3.4.13	
10	広島県広島市安佐南区	芦田屋	可部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安佐南3区391号線	広島市	移動等円滑化	—	R3.4.13	
11	広島県広島市東区	愛宕	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	広島中島線	広島市	開かず	歩行者ボトルネック	—	
12	広島県広島市西区	己斐本町	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	西3区93号線	広島市	通学路要対策	—	—	
13	広島県広島市西区	鈴ヶ峰	山陽線/ 宮島線	西日本旅客鉄道(株) /広島電鉄(株)	市道	西5区57号線	広島市	歩行者ボトルネック	—	—	
14	広島県広島市安佐北区	高宮	可部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安佐北3区122号線	広島市	移動等円滑化	—	—	
15	広島県広島市安佐北区	武田学園	可部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	安佐北3区19号線	広島市	移動等円滑化	—	—	
16	広島県広島市佐伯区	隅之浜	宮島線	広島電鉄(株)	県道	五日市筒賀線	広島市	歩行者ボトルネック	—	—	

■ 災害時の管理の方法を定めるべき踏切道 一覧

広島市

No	踏切道		鉄道		道路			法指定 時期
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者	
1	広島県広島市東区	愛宕	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	広島中島線	広島市	R3.6.30
2	広島県広島市佐伯区	観音崎第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	五日市筒賀線	広島市	R3.6.30
3	広島県広島市佐伯区	隅之浜	宮島線	広島電鉄(株)	県道	五日市筒賀線	広島市	R3.6.30

ひろしまし とうぶ ちく れんぞくりったいこうさじぎょう かんれん ひろしまし ふちゅうちょう かいたちょう
広島市東部地区連続立体交差事業関連10踏切道（広島市・府中町・海田町）

更新日：令和4年12月末

踏切道名 右図の10踏切道（緑文字の踏切）
 鉄道事業者名 西日本旅客鉄道(株)
 鉄道路線名 山陽本線
 （安芸中野駅～天神川駅）
 呉線（矢野駅～海田市駅）
 道路管理者名 広島県，広島市
 府中町及び海田町



大正通第1踏切(海田町)の渋滞状況

(踏切道の課題)

- ・広島都市圏東部地域に位置するJR海田市駅及び向洋駅周辺は、JR山陽本線及び呉線により地域が分断され、踏切遮断による交通渋滞が日常的に発生し、一般車両のみならず緊急自動車の通行も妨げられる状況であり、都市機能が著しく低い状態にある。このため、連続立体交差事業を実施し、鉄道を高架化することにより、市街地の一体化と都市交通の円滑化、踏切事故の解消、踏切除却による高齢者や児童等の安全・安心な移動動線の確保や利便性の向上及び緊急自動車の迅速な移動による都市防災機能の向上等が求められている。
- ・令和2年度に、広島県、広島市及び鉄道事業者の3者で工事協定を締結し、**鉄道高架I期区間の工事に着手した。**
- ・令和3年度には向洋駅仮跨線橋及び北口仮駅舎を供用開始し、**令和4年度も引き続き仮線工事を実施している。**

(鉄道事業者との協議状況)

- ・R1.9 都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱第4条に係る協議の実施
- ・R2.6 工事協定締結
- ・R2.12 踏切道改良計画書を提出

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月未

よみがな	あおさきだい10	所在地	広島県安芸郡府中町青崎南5566-4		
踏切道名	青崎第10	道路名	町道青崎桃山線	道路管理者名	府中町
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>府中町都市計画図</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	25.1		左道路	1.5	6.5	2.0	
	横断本数(本)	4		踏切道	0.0	5.8	4.2	
	交差角(度)	60	右道路	1.5	6.5	2.0		
	道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	4,517		歩行者等交通量 (人/日)	4,502	鉄道交通量 (本/日)	372		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	38	前後歩道との 幅員差(m)	-1.5	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	31,167	AとBの和	62,231		踏切事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	31,064				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車*トトラック踏切	歩行者*トトラック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	○	-	-	-	○	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R1.12.25 (旧法)	第2条第2号 (歩行者*トトラック踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	R2	H13	R2		
	対策内容						
	・連続立体交差 (H13～) ・全方位型警報灯 (H27) ・遮断不良検出器 (H26)						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	しんまち	所在地	広島県安芸郡海田町新町2204-7		
踏切道名	新町	道路名	町道1号線	道路管理者名	海田町
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	36		左道路	1.3	6.6	1.3	
	横断本数(本)	6		踏切道	1.4	6.3	1.5	
	交差角(度)	65	右道路	1.3	6.6	1.3		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路		150	
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)		○	
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備		-		
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム		-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上		-		
自動車交通量(台/日)	1,419	歩行者等交通量(人/日)	956	鉄道交通量(本/日)	373			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	45	前後歩道との幅員差(m)	1.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,906	AとBの和	23,275		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,369				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
○	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R1.12.25 (旧法)	第2条第3号 (開かずの踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	R2	H13	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差 (H13～) 遮断不良検出器 (H26) 						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

つるがばし ひろしまけんふくやまし
鶴ヶ橋踏切道（広島県福山市）

更新日：令和4年12月末

踏切道名 鶴ヶ橋踏切道
鉄道事業者名 西日本旅客鉄道
鉄道路線名 福塩線（神辺～横尾）
道路名 県道加茂福山線
道路管理者名 広島県



【参考】
自動車交通量 15,525台／日
歩行者交通量 332人／日



（踏切道の課題）

・当該路線は、備後都市圏北部と福山市中心部を結ぶ幹線道路であり、国道182号を補完する道路に位置付けられている。しかしながら、国道313号と交差する鶴ヶ橋南詰交差点は、隣接してJR福塩線の踏切があることから、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しており、「広島県の主要渋滞箇所」に位置づけられ地域の大きな課題となっている。

また、踏切部や周辺道路には歩道が整備されておらず、走行空間が確保されていないため事故も発生している。

これらの課題を解決し円滑な交通と歩行者の安全を確保するために、JR福塩線との立体交差化について、早急に対応する必要がある。

・平成30年度までに事業区間全ての用地を買収。

・令和4年度は橋梁下部工の工事等を実施。

（鉄道事業者との協議状況）

- ・H16.3 立体交差構造に関する事前協議
- ・R2.12 地方踏切改良計画書を国土交通大臣に提出

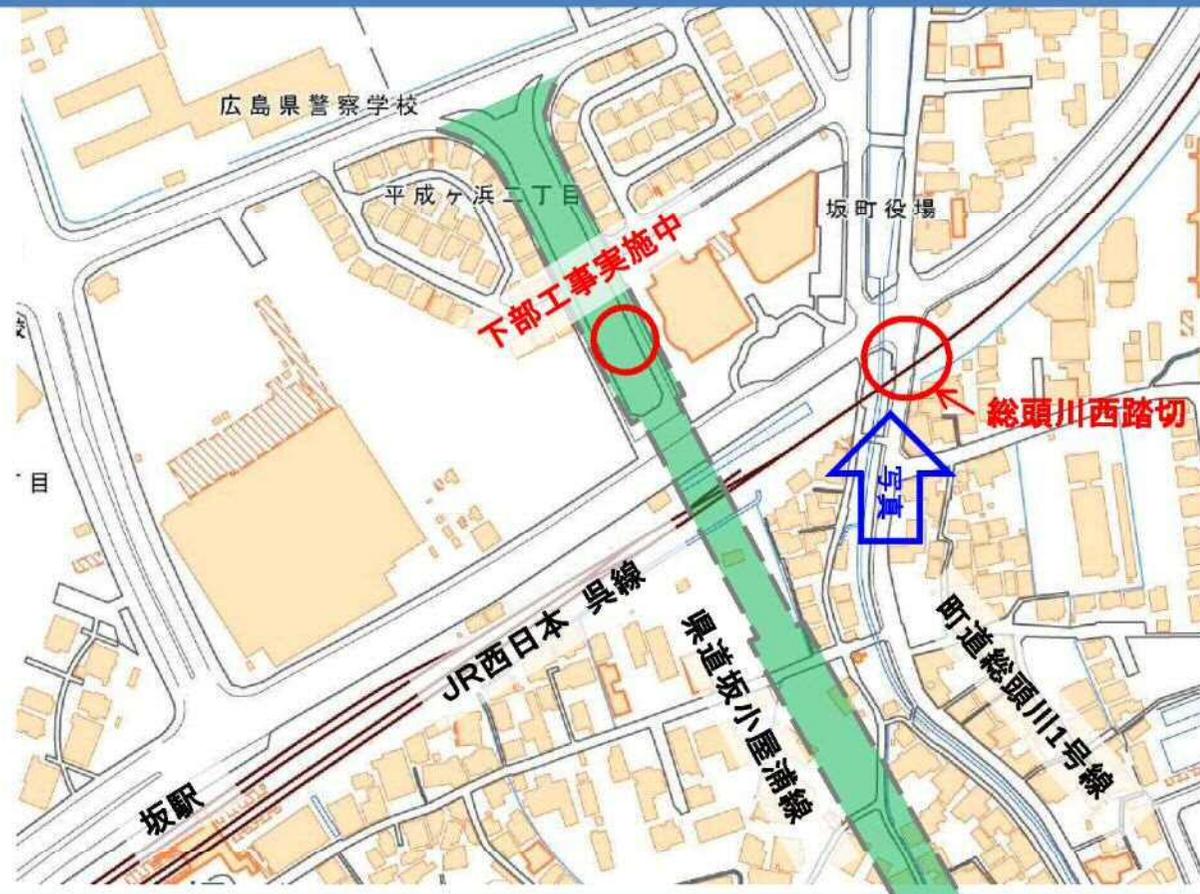
そう ず がわ にし ひろ し ま け ん さ か ち ょ う
総頭川西踏切道 (広島県坂町)

更新日: 令和4年12月末

踏切道名 総頭川西踏切道
鉄道事業者名 西日本旅客鉄道
鉄道路線名 呉線(矢野～坂)
道路名 町道総頭川1号線
道路管理者名 坂町

【参考】

自動車交通量 5,589台/日
歩行者交通量 72人/日



(踏切道の課題)

・広島都市圏の発展とともに市街化が進展した当該地域は、主要な幹線道路である国道31号へのアクセス道がJR呉線によって1箇所しかないことにより、交通が集中し、国道31号の渋滞や、踏切と国道31号の距離がほとんど無いといった構造から、朝夕には当該踏切部を中心に慢性的な渋滞が発生しており、更には、地域住民の日常生活に支障をきたしている。また、走行空間が十分に確保されていないことから、踏切部での事故も発生している。当該地域の更なる発展を目的として「坂町都市計画マスタープラン」に基づき街づくりの根幹として県道坂小屋浦線の整備を推進し、また、平成26年に策定した通学路交通安全プログラムにも位置づけられていることから、その緊急性・重要性は、より一層高まっており、JR呉線との立体交差化について早急に取り組む必要がある。

・令和4年度は、**県道坂小屋浦線跨線橋の下部工事を実施。**

(鉄道事業者との協議状況)

- ・H20.3 立体交差構造に関する事前協議
- ・H29.11～ 跨線橋詳細設計に関する事前協議
- ・R2.12 踏切道改良計画書を国土交通省へ提出
- ・R3.3～ 跨線橋下部工の一部工事着手

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	かいがんどおり	所在地	広島県呉市阿賀中央8丁目5746-45		
踏切道名	海岸通	道路名	主要地方道呉環状線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>広域</p>  <p>国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	6		左道路	2.8	9.0	3.7	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	9.0	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	1.9	8.2	2.4		
	道路 線形	左道路 直線 右道路 直線	迂回 路	種類	有無等		距離(m)	
	交通規制	交通規制なし		自動車	両方共なし		-	
	車両進入防護柵等	設置していない		歩行者	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-	バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性		通学路指定状況 (学校指定)	-	通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	8,304	歩行者等交通量 (人/日)	385	鉄道交通量 (本/日)	115			

基準算定データ						R3年9月末時点			
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	-3.7	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	19,099	AとBの和	19,985		踏切事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	886				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	・遮断不良検出器 (H29)						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	りょうじょうだい1	所在地	広島県呉市西二河通3丁目3-1		
踏切道名	両城第1	道路名	市道三条3丁目1号線	道路管理者名	呉市
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
  	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置 (起点寄)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	7		左道路	3.5	8.0	3.5	
	横断本数(本)	1		踏切道	3.5	8.0	3.4	
	交差角(度)	58		右道路	3.5	8.0	3.5	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	4,681	歩行者等交通量 (人/日)	1,410	鉄道交通量 (本/日)	116			

基準算定データ						R3年9月末時点			
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	-0.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,894	AとBの和	11,573		踏切事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,679				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-	-	
	対策内容						
	-						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	りょうじょうだい5	所在地	広島県呉市三条通2丁目28-2		
踏切道名	両城第5	道路名	市道三条4丁目1号線	道路管理者名	呉市
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置 (起点寄)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8		左道路	2.6	4.0	3.9	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	10.2	0.0	
	交差角(度)	50	右道路	2.5	5.0	3.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	その他の交通規制 (一方通行)		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	1,466	歩行者等交通量 (人/日)	2,398	鉄道交通量 (本/日)	116			

基準算定データ						R3年9月末時点			
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	-3.9	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	4,252	AとBの和	11,206		踏切 事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	6,954				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-	-	
	対策内容						
	-						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	かわいがわ	所在地	広島県廿日市市可愛		
踏切道名	可愛川	道路名	一般県道由道廿日市線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	宮島線	鉄道事業者名	広島電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>詳細</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>広域</p>  </div> </div> <p style="font-size: small;">国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8.4		左道路	0.0	7.0	1.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	0.0	6.5	1.1		
	道路 線形	左道路	直線	迂回 路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,750	歩行者等交通量 (人/日)	378	鉄道交通量 (本/日)	280			

基準算定データ						R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	23	前後歩道との 幅員差(m)	-1.1	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	10,549	AとBの和	12,000		踏切事故	0	0	地域 課題
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	1,451				道路交通 事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	-						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	へら	所在地	広島県廿日市市下平良1191-7		
踏切道名	平良	道路名	一般県道虫道廿日市線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>詳細</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>広域</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.3		左道路	0.0	7.5	1.1	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0	
	交差角(度)	60		右道路	0.0	6.4	1.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		-		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,560	歩行者等交通量 (人/日)	306	鉄道交通量 (本/日)	226			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との 幅員差(m)	-1.1	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	22,784	AとBの和	24,742		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	1,958				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	・遮断不良検出器(H27)						
	事業完了年度	対策の効果等					
	-						
除却年度	-						
-							

ふる しん がい だい いち ひろ しま けん おお たけ し
古新開第一踏切道（広島県大竹市）

更新日：令和4年12月末

踏切道名 古新開第一踏切道
 鉄道事業者名 西日本旅客鉄道
 鉄道路線名 山陽本線
 道路名 県道大竹湯来線
 道路管理者名 広島県

○踏切長：9.0m ○踏切幅員：6.0m(車道6.0m)
 ○自動車交通量：3,673台/日
 ○歩行者交通量：183人/日 ○軽車両交通量：130台/日
 ○列車本数：236本/日 ○踏切遮断時間：22分(1時間最大)

現況写真



位置図



(踏切道の課題)

- ・当該路線は、国道2号から大竹市の市街地を經由し、広島市湯来町を連絡する主要な幹線道路である。
- ・踏切部を含めた当該区間は、車道が狭隘で歩道が無く、円滑な交通に支障をきたし、歩行者と自動車による事故も発生している。特に踏切部においては、歩行者が線路敷にはみ出して通行するなど、危険な状況にさらされており、早急な対策が必要である。
- ・「大竹市都市計画マスタープラン」に基づき、大竹市ではまちづくりの一環として玖波駅の周辺開発が進められている中で、当該路線・踏切の改良は地域のまちづくりの根幹となる極めて重要な地域課題として位置付けられている。
- ・通学路交通安全プログラムにも位置付けられており、対策の緊急性、重要性が高い。
- ・令和4年度は、鉄道事業者との協議を実施。

なかやま ひろしま けん ひろしま し
中山踏切道 (広島県広島市)

更新日: 令和5年1月末

踏切道名 中山踏切道
 鉄道事業者名 西日本旅客鉄道
 鉄道路線名 芸備線(戸坂～矢賀)
 道路名 県道府中祇園線
 道路管理者名 広島市

【参考】
 自動車交通量 17,206台/日
 歩行者交通量 1,307人/日



	H30	H31	R2	R3	R4	R5 以降
計画協議	○					
実施協議	○	○	○			
対策実施			○	○	○	○

■想定している改良の方法: 立体化
 (踏切道の課題)

- ・当該路線は、広島県府中町と広島市安佐南区西原を結ぶ幹線道路である。本路線と県道中山尾長線が接続する交差点にはJR芸備線中山踏切が隣接し、複雑な交通形態となっている。このため、踏切を中心に朝夕に慢性的な交通渋滞が発生しており、「広島県の主要渋滞箇所」に位置づけられ地域の大きな課題となっている。また、中山踏切周辺では交通事故も発生しており、安全な通行に支障をきたしている状況である。これらの課題を解決し円滑な交通と安全を確保するために、JR芸備線との立体交差化(アンダーパス)について、早急に対応する必要がある。
- ・平成30年度は、迂回路設置工事と水路移設工事を実施。
- ・令和2年度から、本格的にアンダーパス工事を実施。
- ・令和6年度までに対策完了を予定。

(鉄道事業者との協議状況)

- ・H29.4 立体交差工事に関する覚書締結
- ・R2.12 踏切道改良計画書を提出

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみか な	まとはかわにし	所在地	広島県広島市安芸区船越3丁目2170-2		
踏切道名	的場川西	道路名	一般県道瀬野船越線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p>  <p>国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置 (起点寄)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	25.3		左道路	1.2	6.0	0.0	
	横断本数(本)	5		踏切道	1.5	7.1	0.0	
	交差角(度)	90	右道路	1.2	6.0	1.3		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック、黄線		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全 プログラム	-			
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	2,185		歩行者等交通量 (人/日)	1,271	鉄道交通量 (本/日)	373		

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	43	前後歩道との 幅員差(m)	-1.3	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	17,480	AとBの和	27,648		踏切 事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	10,168				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
○	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R1.12.25 (旧法)	第2条第10号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R2	H13	R2	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差事業による廃止 遮断不良検出器(H26) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ひきじ	所在地	広島県広島市安芸区船越町引地1858-4		
踏切道名	引地	道路名	市道安芸3区72号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>位置図・現況写真</p> <p>現況</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	39.7		左道路	1.7	4.4	0.0	
	横断本数(本)	4		踏切道	1.9	4.5	0.0	
	交差角(度)	85		右道路	1.5	4.2	0.0	
	道路線形	左道路 曲線 右道路 直線	迂回路	種類	有無等		距離(m)	
	交通規制	交通規制なし		自動車	両方共なし		-	
	車両進入防護柵等	自転車等防護柵等を設置している	歩行者	迂回路なし(200m以内)		-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロックその他(ガードレール)	バリアフリー化	迂回路なし(200m以内)		-		
	踏切保安設備	賢い踏切	-	バリアフリー化状況	-	D10地区	○	
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	踏切支障報知装置(手動)	-	○		
特性	通学路指定状況(学校指定)	○	高齢者等の事故防止対策設備	-	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	通学路交通安全プログラム	-	-			
自動車交通量(台/日)	1,245	歩行者等交通量(人/日)	1,942	鉄道交通量(本/日)	373			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	41	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,338	AとBの和	23,903		踏切事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	14,565				道路交差事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ト44ヶ踏切	歩行者ト44ヶ踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多发踏切	移動等円滑化要対策踏切	
○	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R1.12.25(旧法)	第2条第10号(地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R2	H13	-	
	対策内容					
	・連続立体交差(H13~) ・遮断不良検出器(H26)					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度						
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	ふなこし	所在地	広島県広島市安芸区船越町花都2337-1		
踏切道名	船越	道路名	市道安芸3区59号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	26.1		左道路	5.0	9.0	5.0	
	横断本数(本)	5		踏切道	0.0	5.1	1.4	
	交差角(度)	90	右道路	5.0	9.0	5.7		
	道路 線形	左道路 直線 右道路 直線	迂回 路	種類	有無等		距離(m)	
	交通規制	交通規制なし		自動車	両方共なし		-	
	車両進入防護柵等	設置していない		歩行者	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	コンクリートブロック、黄線	バリアリ 化	迂回路なし (200m以内)		-		
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-	バリアリ 化	-	DID地区	○	
		高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故 防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全 プログラム	-				
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	3,078	歩行者等交通量 (人/日)	1,556	鉄道交通量 (本/日)	373			

基準算定データ						R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	38	前後歩道との 幅員差(m)	-5.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	20,623	AとBの和	31,048		踏切事故	0	0	地域 課題
B. 踏切歩行者等交通遮断 量(人・時)	10,425				道路交 通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
R1.12.25 (旧法)	第2条第4号 (歩道狭路踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	R2	H13	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差 (H13~) 踏切カメラ設置 (H29) 運断不良検出器(H26) 						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみかた	くさつ	所在地	広島県広島市西区草津東3丁目438-1		
踏切道名	草津	道路名	市道西4区47号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置 (起点寄)	歩道部	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	10.5		左道路	0.0	5.2	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.6	0.0	
	交差角(度)	47	右道路	0.0	4.3	1.2		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	2,433	歩行者等交通量(人/日)	1,268	鉄道交通量(本/日)	241			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	17	前後歩道との幅員差(m)	-1.2	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 近隣小学校の通学路に指定されているが、歩道がなく、児童等の歩行者の通行に支障をきたしている。また、踏切道の幅員が狭かつ屈曲していることなどから、車両の離合も困難な状況である。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	10,219	AとBの和	15,545		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	5,326				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多发踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R3年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R3年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	-	R3	R3		
	対策内容						
	・構造改良(車道拡幅、歩道設置、交差角度の改善)						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

地域課題踏切カルテ

更新日：令和4年12月末

よみかた	びしゃもん	所在地	広島県広島市安佐南区佐東町緑二丁目3704-3		
踏切道名	毘沙門	道路名	市道安佐南1区194号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	14.8		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.3	0.0	
	交差角(度)	82	右道路	0.0	6.0	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方ともなし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	その他	140		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化 注意看板			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	7,504	歩行者等交通量(人/日)	2,695	鉄道交通量(本/日)	141			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 多くの自転車、歩行者が通行し、近隣小学校の通学路に指定されているにも関わらず、踏切の幅員が狭く、歩道が設置されていないため安全・円滑な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	35,269	AとBの和	47,936		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,667				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R3年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	-	R1	-		
	対策内容						
	・構造改良(歩道整備)						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	あしだや	所在地	広島県広島市安佐南区長束4丁目1145-1		
踏切道名	芦田屋	道路名	市道安佐南3区391号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p> <p>現況</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置 (起点寄)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	8		左道路	0.0	4.0	0.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	85		右道路	0.0	4.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	その他の交通規制		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザ型式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	2,353		歩行者等交通量(人/日)	5,555		鉄道交通量(本/日)	152	

基準算定データ						R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 多くの自転車、歩行者が通行し、近隣小学校の通学路に指定されているにも関わらず、踏切の幅員が狭く、歩道が設置されていないため安全・円滑な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,177	AとBの和	30,842		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	21,665				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	○	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13 (現法)	第2条第11号 (移動等円滑化要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	○	-	R3	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 障害物検知装置 (H24) 遮断不良検出器 (H24) 構造改良 (歩道 (歩行空間) 整備) 						
	事業完了年度	対策の効果等					
	-						
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	あたご	所在地	広島県広島市東区愛宕町		
踏切道名	愛宕	道路名	主要地方道広島中島線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p> <p>緊急輸送道路 特定道路</p> <p>国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	45		左道路	2.0	6.8	1.7	
	横断本数(本)	6		踏切道	2.1	6.5	2.2	
	交差角(度)	50	右道路	2.0	7.0	3.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	起点寄有り	300	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	踏線標	10		
	車両進入防護標等	設置していない		バリアリ化	踏線標	10		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	両側にスロープ	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		オーバーハング型警報装置		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○(対応済)		緊急輸送道路上重要物流道路上	弊3次			
自動車交通量(台/日)	2,240	歩行者等交通量(人/日)	5,484	鉄道交通量(本/日)	457			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	52	前後歩道との幅員差(m)	-0.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 踏切遮断時間が長いことから、踏切周辺及び、迂回路において慢性的な渋滞が発生。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	34,496	AとBの和	118,950		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	84,454				道路交通事故	1	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
○	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者横断立体整備済み(H15) 全方位型警報灯(H26) 						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	こいほんまち	所在地	広島県広島市西区己斐1丁目356-6		
踏切道名	己斐本町	道路名	市道西3区93号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>詳細</p> <p>己斐中</p> <p>己斐西町</p> <p>己斐本町</p> <p>山陽線</p> <p>広島電</p> <p>広島市</p> <p>広島県</p> <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	20.5		左道路	0.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	6.5	0.0	
	交差角(度)	72	右道路	0.0	6.0	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	2,117		歩行者等交通量(人/日)	3,432		鉄道交通量(本/日)	241	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 西広島駅の北側は区画整理事業が事業中、南側は再開発事業が計画されていることに加え、アストラムラインの延伸に伴い己斐中央線の整備も予定されており、踏切の通行量の増大が予想される。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,761	AとBの和	36,069		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	22,308				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

法指定の状況					R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 踏切カメラ設置(H29) 全方位型警報灯(H23) 遮断不良検出器(H26) 						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみかた	すずがみね	所在地	広島県広島市西区井の口3丁目589-2		
踏切道名	鈴ヶ峰	道路名	市道西5区57号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線/宮島線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道/広島電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p> <p>国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p>	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
	踏切長(m)	21.4		左道路	0.0	7.0	3.5	
	横断本数(本)	4		踏切道	0.0	8.0	4.5	
	交差角(度)	75		右道路	1.0	7.0	3.5	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	接続軌道化 注意看板			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	4,709		歩行者等交通量(人/日)	6,879		鉄道交通量(本/日)	240	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	-1.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 広島電鉄とJR線が隣接しており、広電の駅がある事、後背地の住宅地から、幹線道路である国道2号への出入口となっており、踏切と国道2号の交差点までの距離が短いことから激しい渋滞が起きている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	23,545	AとBの和	57,940		踏切事故	1	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	34,395				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多发踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	<ul style="list-style-type: none"> 踏切道の幅踏切カメラ設置(H29) 警報灯全方位化(H28) 広島電鉄との警報灯・スピーカーの共有化(H28) 修大付屋鈴峯前(上り)に回転灯等注意喚起設備設置(H28) 修大協創中高前(上り)に通路遮断機設置(R1) 事故防止啓発活動 						
事業完了年度	対策の効果等						
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	たかみや	所在地	広島県広島市安佐北区亀山2丁目		
踏切道名	高宮	道路名	市道安佐北3区122号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>位置図・現況写真</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	6		左道路	1.3	6.5	1.3	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	9.0	0.0	
	交差角(度)	89	右道路	1.3	6.5	1.3		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザ型式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	0		歩行者等交通量(人/日)	0		鉄道交通量(本/日)	99	

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	-1.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	-						
	事業完了年度	対策の効果等					
-							
除却年度	-						
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	たけだかくえん	所在地	広島県広島市安佐北区可部南3丁目215-1		
踏切道名	武田学園	道路名	市道安佐北3区19号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>詳細</p> <p>△23.9</p> <p>可部線</p> <p>広域</p> <p>特定道路</p> <p>国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p> 	踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
	踏切長(m)	6		左道路	0.0	8.0	0.0	
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	8.0	0.0	
	交差角(度)	63	右道路	0.0	8.0	0.0		
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)	-		
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況(学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○		緊急輸送道路上重要物流道路上	-			
自動車交通量(台/日)	5,804	歩行者等交通量(人/日)	3,640	鉄道交通量(本/日)	99			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	8	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	12,189	AとBの和	19,833		踏切事故	0	0		-
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	7,644				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	○	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
対策内容							
-							
事業完了年度	対策の効果等						
-							
除却年度							
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和4年12月末

よみがな	すみのほま	所在地	広島県広島市佐伯区隅の浜		
踏切道名	隅の浜	道路名	主要地方道五日市筒賀線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	宮島線	鉄道事業者名	広島電鉄

位置図・現況写真		諸元・構造等						R3年9月末時点	
<p>詳細 三筋 (一) 隅の浜 (二) 宮島線 美々園 (四) 園駅 美々園 (四) 緊急輸送道路 国土地理院電子国土web</p> <p>現況</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	10.5		左道路	1.0	10.0	1.4		
	横断本数(本)	2		踏切道	1.5	9.9	2.5		
	交差角(度)	80		右道路	1.0	9.5	1.5		
	道路線形	左道路 直線 右道路 直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)			
	交通規制	交通規制なし		自動車	両方共なし	-			
	車両進入防護柵等	設置していない		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-			
	歩車道分離方法	コンクリートブロック		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-			
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○			
		高規格保安設備	-		高齢者等の事故防止対策設備	連接軌道化 注意看板			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	-		通学路交通安全プログラム	-				
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	繁2次				
自動車交通量 (台/日)	9,727	歩行者等交通量 (人/日)	4,450	鉄道交通量 (本/日)	290				

基準算定データ						R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との幅員差(m)	0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題 当踏切は、県道から幹線道路(国道2号)への出入口を担っている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	43,772	AとBの和	63,797	踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	20,025			道路交通事故	1	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ネット踏切	歩行者ネット踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	○	-	-	-	-	

法指定の状況						R4年12月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況					R4年12月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	指定前	○	-	-	-		
	対策内容						
	・事故防止啓発活動						
事業完了年度	対策の効果等						
-							
除却年度							
-							